

# 令和4年9月議会

## 決算特別委員会資料

(第2分科会・市民文化スポーツ局)

1	令和3年度 一般会計決算総括表	.....	2
2	令和3年度 歳入決算概要について	.....	3
3	令和3年度 歳出決算概要について	.....	4
4	令和3年度の主な取組みの成果について	.....	5
5	令和4年度 指定管理者の評価結果について	.....	1 1

# 1 令和3年度 一般会計決算総括表

(歳入)

(単位:千円)

款	予算現額	収入済額	予算現額と収入済額との比較
17 使用料及び手数料	1,373,089	797,426	△ 575,663
18 国庫支出金	1,339,080	1,071,501	△ 267,579
19 県支出金	141,095	29,121	△ 111,974
20 財産収入	140,124	140,629	505
21 寄附金	80,000	48,647	△ 31,353
22 繰入金	160,457	149,828	△ 10,629
24 諸収入	706,157	387,575	△ 318,582
25 市債	2,931,300	2,268,000	△ 663,300
合計	6,871,302	4,892,727	△ 1,978,575

(歳出)

(単位:千円)

款項目	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2.2.8 区役所費	1,344,640	1,259,863	0	84,777
2.2.11 住居表示費	7,058	6,850	0	208
2.2.12 交通遺児奨学費	14,977	5,318	0	9,659
2.3.4 文化振興費	4,347,848	3,704,697	137,959	505,192
2.3.5 スポーツ振興費	4,411,140	3,932,840	122,000	356,300
2.3.6 美術館費	315,578	291,344	0	24,234
2.3.7 博物館費	332,719	315,881	0	16,838
2.4.1 市民総務費	3,807,929	3,572,095	0	235,834
2.4.2 消費者行政費	117,860	112,001	0	5,859
2.4.3 生涯学習費	487,294	461,157	0	26,137
2.6.1 戸籍住民基本台帳費	1,259,976	927,935	13,020	319,021
合計	16,447,019	14,589,981	272,979	1,584,059

※執行率:88.7%(支出済額/予算現額)

※翌年度繰越額を含めた執行率:90.4%((支出済額+翌年度繰越額)/予算現額)

## 2 令和3年度 歳入決算概要について

(歳入内訳)

(単位:千円)

頁	款 項 目	予算現額 (A)	収入済額 (B)	比較(C) (B)-(A)	主な収入
24   25	17. 1. 1 総務使用料	1,008,896	487,593	△ 521,303	・文化施設使用料 137,131 ・スポーツ施設使用料 206,033 ・博物館使用料 92,216
26   29	17. 2. 1 総務手数料	364,193	309,833	△ 54,360	・戸籍住民基本台帳手数料 305,397
32   33	18. 2. 1 総務費国庫補助金	1,334,035	1,065,980	△ 268,055	・社会保障・税番号制度対応 事業費 675,084
36   37	18. 3. 1 総務費委託金(国庫)	5,045	5,521	476	・中長期在留者住居地届出等 事務費 4,579
40   41	19. 2. 1 総務費県補助金	141,082	29,116	△ 111,966	・福岡県ホストタウン等新型コロ ナウイルス感染症対策基金 10,032 ・福岡県消費者行政推進事業 補助金 10,127
42   43	19. 3. 1 総務費委託金	13	5	△ 8	・権限委譲事務交付金 (住居表示) 4
46   47	20. 1. 1 財産貸付収入	105,070	109,388	4,318	・コムシティ貸付収入 68,330
	20. 1. 3 基金運用収入	3,079	769	△ 2,310	・文化振興基金利子等 759
	20. 1. 5 特許権等運用収入	1,000	497	△ 503	・文学館管理著作権使用料 497
	20. 1. 6 施設命名権収入	30,975	29,975	△ 1,000	・ミクニワールドスタジアム 北九州命名権収入 22,000
48   49	21. 1. 1 総務費寄附金	55,000	36,907	△ 18,093	・文化行事等寄附金 10,000 ・スポーツによるにぎわいづくり 基金寄附金 19,372
	21. 1. 6 一般寄附金	25,000	11,740	△ 13,260	・ふるさと寄附金(クラウドファン ディング) 11,740
50   51	22. 1. 4 市民太陽光発電所 特別会計繰入金	12,500	11,921	△ 579	
	22. 2. 3 美術品取得基金繰入金	3,884	0	△ 3,884	
52   53	22. 2. 12 文化振興基金繰入金	107,115	106,305	△ 810	
	22. 2. 14 スポーツによるにぎわ いづくり基金繰入金	20,000	20,000	0	
	22. 2. 15 交通安全対策事業 推進基金繰入金	7,000	8,800	1,800	
54   55	22. 2. 19 山九交通遺児奨学金 基金繰入金	9,958	2,802	△ 7,156	
56   57	24. 1. 3 過 料	135	202	67	・条例違反過料 202
	24. 3. 1 総務費貸付金元利収入	52,650	2,035	△ 50,615	・つり銭準備貸付金収入 2,035
60   61	24. 4. 1 総務費受託事業収入	192,545	72,915	△ 119,630	・埋蔵文化財発掘調査等受託 事業 72,915
60   63	24. 6. 2 弁償金	3	0	△ 3	
62   63	24. 6. 4 雑 入	460,824	312,423	△ 148,401	・私用光熱水使用料等 44,097 ・文化事業収入 163,312
66   67	25. 1. 1 総務債	2,931,300	2,268,000	△ 663,300	・総合体育館改修事業 802,800 ・市民センター整備事業 453,400
	合 計	6,871,302	4,892,727	△ 1,978,575	

### 3 令和3年度 歳出決算概要について

(歳出内訳)

(単位:千円)

頁	款 項 目	予算現額 (A)	支出済額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	不用額 (A)-(B)-(C)	主な支出
80   83	2.2.8 区役所費	1,344,640	1,259,863	0	84,777	・区役所及び出張所管理経費 929,236
84   85	2.2.11 住居表示費	7,058	6,850	0	208	・実施区域維持管理経費 5,861
	2.2.12 交通遺児奨学費	14,977	5,318	0	9,659	・山九交通遺児奨学金 2,802 ・山九交通遺児奨学金基金 積立金 2,516
88   91	2.3.4 文化振興費	4,347,848	3,704,697	137,959	505,192	・東アジア文化都市2020 北九州推進経費 399,215 ・芸術文化施設整備経費 614,036 ・芸術文化施設維持管理経費 1,347,425 ・文化財保護経費 282,994
90   91	2.3.5 スポーツ振興費	4,411,140	3,932,840	122,000	356,300	・大規模国際大会、全国大会等 スポーツ誘致・開催経費 941,036 ・スポーツ施設整備費 1,148,890 ・スポーツ施設維持管理経費 1,467,261
90   93	2.3.6 美術館費	315,578	291,344	0	24,234	・美術展開催経費 104,299 ・美術鑑賞事業「ミュージアム・ ツアー」 23,039 ・美術館管理運営事業費 154,847
92   93	2.3.7 博物館費	332,719	315,881	0	16,838	・企画展、特別展開催経費 48,285 ・博物館維持管理経費 224,960
94   97	2.4.1 市民総務費	3,807,929	3,572,095	0	235,834	・市民センター維持管理経費 2,486,807 ・まちづくり推進経費 301,827
96   97	2.4.2 消費者行政費	117,860	112,001	0	5,859	・消費生活相談業務等推進経費 77,818
96   99	2.4.3 生涯学習費	487,294	461,157	0	26,137	・生涯学習活動推進経費 11,592 ・生涯学習センター維持管理 経費 390,867
100   103	2.6.1 戸籍住民 基本台帳費	1,259,976	927,935	13,020	319,021	・市民課入力業務等委託経費 154,875 ・マイナンバーカード関連事業 614,384
	合 計	16,447,019	14,589,981	272,979	1,584,059	

※執行率:88.7%(支出済額/予算現額)

※翌年度繰越額を含めた執行率:90.4%((支出済額+翌年度繰越額)/予算現額)

## 4 令和3年度の主な取組みの成果について

### (1)「創造都市・北九州」の実現

#### ○ 東アジア文化都市北九州推進事業 262,214千円

多彩な文化芸術事業や中国・韓国の開催都市と交流事業を行うことで、東アジア域内の相互理解・連帯感の形成を促進するとともに、文化芸術の力による都市の発展を目指し、2021年12月まで会期延長となった「東アジア文化都市北九州2020▶21」を開催した。

#### ○ 「ART for SDGs」推進事業（東アジア文化都市・コア事業） 120,000千円

「東アジア文化都市北九州2020▶21」のコア事業の一つとして、SDGsモデル都市である本市のシンボリックなエリアである八幡・東田地区を中心に、SDGsをテーマにしたアートフェスティバルを開催した。

#### ○ 東アジア文化都市パートナーシップ事業 17,000千円

「東アジア文化都市北九州2020▶21」の実施にあたり、市内全体で機運を盛り上げるため、市民が自ら企画・実施する取組やイベントに対して、費用の一部を助成した。

#### ○ 北九州市東田ミュージアムパーク関連事業（局所管分） 29,945千円

いのちのたび博物館を中核に、文化施設や商業施設等が連携し、東田地区を中心に地域の活性化や観光客の誘客に向けた取組を実施した。

#### ○ 北九州国際音楽祭 13,609千円

地域の音楽文化の向上を図るため、「東アジア文化都市北九州2020▶21」の連携事業として、一流アーティストによる公演や小中学生の鑑賞教室など、多彩なプログラムの国際音楽祭を開催した。

#### ○ 北九州メディア芸術創造拠点推進事業 28,932千円

本市に蓄積されたメディア芸術の資源を活用して文化芸術の振興を図るため、「北九州アニメソングピアノライブ2021」や「クリエイターズミーティングジャパン」などを開催した。

**○ 映像製作誘致強化関連事業** **16,575千円**

感染予防対策を講じた上で、映画・テレビドラマ等のロケ誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図った。また、市民参加による映画イベントの開催等により、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信、シビックプライドの醸成等に取り組んだ。

**○ 若松市民会館・若松生涯学習センター大規模改修工事** **484,310千円**

築30年以上が経過し、老朽化した若松市民会館・若松生涯学習センターの大規模改修を実施した。

**○ 北九州芸術劇場改修工事実施事業** **113,829千円**

開館から18年を経過した北九州芸術劇場について、事故の予防や施設の保全、長寿命化のため、調光操作卓等の更新工事を実施した。

**○ 響ホール・国際村交流センター改修事業** **16,540千円**

開館から28年を経過した響ホール・国際村交流センターについて、事故の予防や施設の保全、長寿命化のため、電話交換機等の更新工事を実施した。

**(2) スポーツを通じたまちなぎわいづくり**

**○ 大規模国際スポーツ大会等誘致事業** **10,836千円**

スポーツによるまちなぎわいの活性化を目的に、国際スポーツ大会等の誘致活動を行った。令和4年度にラグビー日本代表のテストマッチ「リポビタンDチャレンジカップ2022 日本代表対ウルグアイ代表」や、令和5年度に開催予定の「ツール・ド・九州2023」などを誘致した。

**○ 東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ等実施事業** **10,407千円**

新型コロナウイルス感染症の影響により当初より規模が縮小したものの、感染拡大防止対策を徹底する中、2か国4競技が東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた事前キャンプを実施した。また、各ホストタウン相手国とオンラインを中心とした交流を実施した。

**○ 東京オリンピック・パラリンピック聖火リレー関連事業 23,033 千円**

東京 2020 オリンピックの開催にあたり聖火到着を祝うセレブレーションを実施した。また、パラリンピックの開催にあたり聖火事業（採火・集火）を実施した。

**○ ⑨ 2021世界体操・新体操選手権北九州大会 600,000 千円**

「世界体操」と「世界新体操」の大会を史上初めて同時開催した。大会には約 70 の国や地域から 1,200 人を超える選手・関係者が本市を訪れ、ワクチン・検査パッケージを活用し、延べ 26,000 人を超える観客が来場するなど、市制発足以来、最大のスポーツイベントとなった。

**○ ⑩ 「世界体操・新体操」関連事業 205,378 千円**

「2021世界体操・新体操選手権北九州大会」の開催に合わせ、選手団等の歓迎や市民との交流によるおもてなし、PR イベント等による気運醸成、本市の魅力発信などの取組みを実施した。

**○ ウェールズレガシープログラム推進事業 2,000 千円**

ウェールズラグビー協会とのレガシー協定締結 2 周年を記念し、回顧展「ウェールズとの軌跡」を JR 小倉駅 JAM 広場で実施し、期間中約 2,400 人が来場した。

**○ ⑪ 新門司サブグラウンド整備事業 13,605 千円**

新門司球技場の隣接地にギラヴァンツ北九州の練習や学生のサッカー、ラグビーの大会等で利用できる天然芝のグラウンドの整備に着手した。

**○ 夢・スポーツ振興事業 6,096 千円**

国際・全国大会で活躍する選手を育成するため、ジュニア世代がトップアスリート等から直接指導を受ける講習会等を実施した。

**○ ギラヴァンツ北九州支援事業 40,000 千円**

本市のシンボルチームである「ギラヴァンツ北九州」を支援するため、ホームゲーム開催経費や遠征費の一部を補助した。

○ **⑨クラウドファンディングを活用したギラヴァンツ北九州支援事業** 11,740 千円

J1昇格を目指すギラヴァンツ北九州を支援するため、クラウドファンディングを活用し、クラブへの寄附金を募集した。

**(3) 安全・安心を実感できるまちづくり**

○ **日本トップクラスの安全・安心なまちづくり関連事業** 2,734 千円

防犯活動の参加者拡大や刑法犯認知件数の減少など、北九州市安全・安心条例第2次行動計画の目標を達成するため、地域や事業者等による自主防犯活動の活発化を図るなど、安全・安心なまちづくりに向けた取り組みを推進した。

○ **子どもと女性の犯罪被害防止対策事業** 2,497 千円

子どもや女性などの犯罪被害防止対策として、NPO法人日本ガーディアンエンジェルスと協働した安全セミナー等を開催した。また、犯罪被害者支援に関する各種相談窓口を広く周知するために、チラシの配布や出前講演などによる啓発活動を行った。

○ **繁華街客引き行為等対策事業** 1,956 千円

繁華街で発生している迷惑な客引き行為等の適正化のため、実効性のある対策について、有識者による検討会議を開催したことに加え、民間警備員による注意喚起及び客引きの人数調査等を実施した。

○ **⑩性暴力根絶に向けた広報啓発事業** 1,000 千円

性暴力根絶の気運を高めるため「性的同意について考え、伝えよう」をテーマに市内の若者と広報手法や表現等に関する議論を行い、その中で出た意見やアイデアを元に啓発ポスターを作成した。



○ 防犯カメラ関連事業	53,684 千円
〔 うち 防犯カメラ設置補助事業	11,394千円
〔 うち 防犯カメラ事業	4,117 千円

犯罪を抑止し、市民生活等の安全・安心を確保するため、人の多く集まる繁華街や幹線道路、駅周辺において、防犯カメラの設置・運用を行った。また、地域団体や事業者が公共空間を撮影する防犯カメラの設置経費の一部を補助した。

○ 防犯灯関連事業 135,167 千円

夜間における犯罪の発生防止や通行の安全を図るため、防犯灯の整備・維持管理を行うとともに、防犯灯の LED 化を促進した。また、地域が設置する防犯灯の設置費及び維持費の一部を補助した。

○ 暴力追放運動の推進 7,116 千円

福岡県警察・県暴追センターと協力し、市民等の暴力追放意識のさらなる高揚を図るとともに、建物等を暴力団事務所として使わせないための市民運動・住民訴訟等の費用を補助し、社会全体での暴力団排除機運の向上を図った。

○ 消費者啓発の推進 9,960 千円

悪質化・巧妙化する消費者被害や、ニセ電話詐欺による被害を未然に防止するため、各種啓発事業や高齢者の見守りの輪を広げる取組を実施した。

○ ⑨「守れ！若者消費者」メディアミックス戦略 1,800 千円

令和 4 年 4 月からの成年年齢引下げを見据え、若者の消費者被害拡大防止に向け、専門家や大学等と連携を図り、情報発信のポータルサイトを構築するとともに、これと連動して各種 SNS により情報拡散を行った。

**(4) 市民主体の地域づくりの推進等**

○ 区行政推進事業 128,909 千円

市民に身近な存在である区役所が、地域の特色やニーズを踏まえた事業を行い、まちづくりを推進した。

**○ マイナンバーカード関連事業** **614,384 千円**

マイナンバーカードの普及を図るため、月2回の区役所の休日開庁を継続するとともに、平日夜間や土日に、リバーウォーク北九州内にあるサテライトコーナーで、マイナンバーカードの申請や受取に対応した。

**○ 地域コミュニティ活動の推進** **26,964 千円**

地域コミュニティ活動の新たな担い手づくりのため、地域活動の大切さを学んでもらうための教材を市内の小学3年生全員に配布した。また、自治会活動の推進に寄与し、住みよい地域づくりを継続して支援されている事業者の表彰を行った。

**○ 市民センターの維持管理** **2,486,806 千円**

住民主体の地域活動の拠点となる市民センターについて、適切な管理運営や必要な施設整備を行った。

**○ 多様な主体による市民活動の輪づくり事業** **3,221 千円**

NPO活動の活発化と、地域の活性化を図るため、NPOと多様な主体とのマッチングを強化するコーディネート役を設け、課題の掘り下げや、地域・大学等との協働事業を促進した。

**○ ⑧地域で育もう「未来の種」事業** **1,922 千円**

地域づくりの未来の担い手である子どもたちの健全な発達・育成に向けて、市民センターが中心となって、まちづくり協議会などの地域団体、子育て支援団体、NPO、企業などと協働で、世代間交流・体験活動を実施した。

**○ 北九州市民カレッジ事業** **3,292 千円**

市民の多様な学習ニーズに対応した学習機会を提供し、自己実現の促進及び「循環型生涯学習社会」を担う人材の育成を図った。

## 5 令和4年度 指定管理者の評価結果について

### 市民文化スポーツ局

#### 中間評価

施設名	指定管理者	指定期間	評価結果	担当課
1 北九州芸術劇場 響ホール	(公財) 北九州市芸術文化振興財団	平成31年4月1日 ～ 令和6年3月31日	<b>B</b>	文化 企画課
2 曽根臨海運動場	(株) スピナ	令和3年4月1日 ～ 令和7年3月31日	<b>C</b>	スポーツ 振興課
3 北九州スタジアム (ミクニワールドスタジアム 北九州)	(株) ウィンドシップ北九州	平成29年2月1日 ～ 令和14年3月31日	<b>C</b>	スポーツ 振興課